

報告事項 1 平成 27 年度事業報告に関する件

平成 27 年度 一般社団法人全日本愛鱈会事業報告

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

※ 全 般

平成 27 年度事業は計画に基づき、それぞれ担当部の主導によって実施され、所期の成果を挙げ、終了した。馬上宗顕新会長の方針のもと実践的な部会運営計画が着手された。

新潟県小千谷市において開催された第 51 回国際錦鯉品評会は、東北地区会員の尽力により多大な成果を収めた。

平成 27 年度より実施された会費値上げ策により、財政に関して多少の成果が図られたものの、事業活動の根源である会員数の維持については難しい状況に変わりはなく、会員の高齢化を含め依然重要な案件である。海外については、品評会への審査員派遣要請に対して実施できなかった事例が顕著であり今後の影響が懸念される。

1. 組織の運営に関する事項

- (1) 定時総会・理事会・定期部会・公認審査員会等諸会議は、計画どおり開催された。
- (2) 会員数の状況は、国内会員 882 名・国外会員 948 名、総数 1,830 名（前年度比△ 220 名）であった。会員構成比は、国内 48%・国外 52%となった。（前年度とほぼ同比）

国内会員においては、新入会員 24 名の勧誘努力に対して、国内本部・通常会員減 81 名であり、今後は新しい観点での会員勧誘に努める必要がある。

海外会員においては、会費値上げに加え、為替レートの推移、各国の経済状況が関係すると思われる。

2. 品評会に関する事業

- (1) 第 51 回国際錦鯉品評会

期日：平成 27 年 11 月 13 日（金）～ 15 日（日）

場所：新潟県小千谷市「小千谷市総合体育館 コミュニティプラザ」

担当：東北地区

協賛：全日本錦鯉振興会

後援：文化庁・新潟県・小千谷市・新潟日報社・NHK 新潟放送局・BSN 新潟放送・NST・
TeNY テレビ新潟・UX 新潟テレビ 21

(2) 本品評会の成果

出品者数 293 名 (国内 217 名・国外 76 名)

出品尾数 1,373 尾 (国内 1,240 尾・国外 133 尾)

3. 調査・研究に関する事業

(1) 飼育魚病研究会の開催

期日：平成 28 年 1 月 31 日

場所：「東京流通センター」

出席者：48 名

内 容	講 師
「餌を使った錦鯉の健康管理」	日本動物薬品(株) 柴 田 俊 幸

※研究会の内容は、会誌「日鱗」No.580 号に掲載し内外に紹介した。

4. 普及並びに指導に関する事業

(1) 本部主催審査研修会等の開催

期 日	場 所	内 容	参加者
6 月 13 日	東横イン中部国際空港	・紅白 5 尾による評価 ・大正三色 5 尾による評価 * 近藤養魚場協力 (ともにビニール袋審査)	44 名
9 月 6 日	大日養鯉場(株)	・昭和三色 5 尾による評価 * 大日養鯉場(株)協力	鑑賞審査部員他 19 名
1 月 30 日 ～ 31 日	東京流通センター	・大正三色 5 尾による評価 * 岡山桃太郎鯉協力	108 名
各地区及び海外委託審査研修会		・各地区等により研修鯉設定	本部統一 様式報告

(2) 公認審査員補考試の実施

平成 28 年 1 月 30 日、公認審査員補考試が実施された。

5. 社会奉仕に関する事業

(1) 第51回国際錦鯉品評会に伴い実施されたチャリティー・オークションの収益金を下記の団体に対して寄付を行った。

日本赤十字社茨城県支部 221,000 円

宮城県災害対策本部 220,000 円

6. 国際交流に関する事業

(1) 海外支部等の要請に応じて、次のとおり審査員・指導講師等の派遣を行った。

期 日	派遣先品評会名等	派遣審査員等 (敬称略)
4/12	第 34 回 AKA バンクスタウン支部	会長賞のみ交付
4/25～26	第 22 回 KLAN ドイツ支部 インターコイ 2015	横山 惇・斉藤 昌治
4/25～26	第 19 回 シンガポール支部 ※審査研修会開催	三上 彌六・玉木 成美
5/1～3	第 4 回アジアカップ・ヤングコイショー (スラバヤ支部)	会長賞のみ交付
5/9～10	第 3 回 イーストタイ支部若鯉	会長賞のみ交付
5/15～17	第 34 回 ブラジル支部	会長賞のみ交付
5/17	第 38 回 KSA オーストラリア支部	軽部 圭祐・梅野 清作
6/6	北 加 支 部 若 鯉 2 0 1 5	会長賞のみ交付
6/13～14	第 14 回ノーザンミッドウエスト支部	会長賞のみ交付
6/14	第 26 回 西オーストラリア支部	会長賞のみ交付
6/20～21	ベ ル ギ ー 支 部 ※審査研修会開催	会長賞のみ交付
7/12	第 15 回 香 港 支 部 若 鯉	山田 幹洋・川上 健治 賀谷 信郎
7/12	第 4 回 ト ラ イ ス テ ー ト 支 部	会長賞のみ交付
7/25～26	第 24 回 南 ア フ リ カ 支 部 ※審査研修会開催	アラン・ネメンツィック
8/8～9	南 イ ン グ ラ ン ド 支 部 2015	会長賞のみ交付
8/12～16	第 23 回 オ ラ ン ダ 支 部	藤井 清吾・小西 弦

期 日	派遣先品評会名等	派遣審査員等（敬称略）
8/15～16	第12回マレーシア支部	会長賞のみ交付
9/11～13	第22回ポトマック支部	元田 富男・山本 毅
9/25～26	第35回ノースウエスト支部	会長賞のみ交付
11/28～29	2015国際錦鯉銀盃（広東支部）	元田 富男・山本 毅
11/28	バンドン支部2015	会長賞のみ交付
12/5～6	台湾国際錦鯉品評会2015	山田 幹洋・小泉 久司 福田 守
1/9～10	第30回香港支部 ※審査研修会開催	林 豊廣・玉木 成美
1/16	第1回タイ合同（TKKG支部）	鈴木 定通・元田 富男
1/22～24	台湾国際盃2015（フォルモーサ支部） ※審査研修会開催	馬上 宗顕・山田 豊昭
3/18～20	第42回南加支部 ※審査研修会開催	藤井 清吾・小西 弦

※品評会の開催 26回
 ※審査研修会の開催 6回
 ※会長賞のみ交付 13品評会
 ※審査員講師等派遣数 27名

7. 出版に関する事業

(1)「日鱗」(和文・英文)を毎月発行した。

※処務の概要

1. 役員に関する事項

平成28年3月31日現在

役 職	氏 名	就任年月日	担 任 職 務
理 事 (会 長)	馬 上 宗 顕	平 25. 6. 9	代表理事 公認審査員会会長
理 事 (副 会 長)	伊 庭 幸 治	同上	業務執行理事・会長補佐

役 職	氏 名	就任年月日	担 任 職 務
理 事 (副 会 長)	北 川 學	平 25. 6. 9	業務執行理事・会長補佐 公認審査員会副会長
理 事 (副 会 長)	鈴 木 定 通	同上	業務執行理事・会長補佐 関東地区長
理 事 (専務理事)	角 南 修 一	同上	業務執行理事・会長補佐 鑑賞審査部担当
理 事 (常務理事)	横 山 惇	同上	業務執行理事・会長補佐 飼育魚病研究部担当
理 事 (常務理事)	中 島 正 章	同上	業務執行理事・会長補佐 総務部担当
理 事 (常務理事)	元 田 富 男	同上	業務執行理事・会長補佐 国際部担当・東海地区長
理 事	野 瀬 康 二	同上	
理 事	鷹 野 義 男	同上	北陸地区長
理 事	山 崎 美左治	同上	品評会事業部担当
理 事	福 井 輝 男	同上	飼育魚病研究部長・品評会事業部副部長 鑑賞審査部副部長
理 事	平 賀 富 弥	平 26. 6. 15	品評会事業部長・鑑賞審査部副部長 東北地区長
理 事	山 本 毅	平 27. 6. 14	国際部長
理 事	沢 村 昌 彦	同上	鑑賞審査部長・品評会事業部副部長
理 事	上 田 正 裕	同上	総務部長・鑑賞審査部副部長 近畿地区長
理 事	山 田 幹 洋	同上	国際部副部長 中国地区長
理 事	玉 木 一 浩	同上	品評会事業部副部長・ 飼育魚病研究部副部長・四国地区長
監 事	三 上 彌 六	平 25. 6. 9	定款第 24 条の職務
監 事	白 坂 大四郎	同上	定款第 24 条の職務

2. 職員に関する事項

平成 28 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名	採用年月日	担 任 業 務
局 長	白 子 祐 子	平 9. 8. 12	全般の統括指導・国外関係業務
主 任 補	白 野 雅 和	平 27. 11. 1	国内会員管理業務・経理業務

3. 会員に関する事項

平成 28 年 3 月 31 日現在

会 員 別	国 内	国 外	計	前年度との比較
本 部 会 員	180	0	180	- 21
通 常 会 員	653	948	1,601	- 168
賛 助 会 員	49	0	49	- 31
計	882	948	1,830	- 220

物 故 者 (敬 称 略)

名 誉 会 長	岩 橋 慶 一
青森県支部会員	西 塚 懿 信
栃木県支部会員	小 山 重 造
和歌山県支部会員	榊 本 守 一
三重県支部会員	岩 田 健 志
滋賀県支部会員	草 野 康 雄
岩手県支部会員	平 賀 貞 子

謹んで、ご冥福をお祈り申し上げます。

4. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

期日・場所	議案事項	会議の結果
5.9～10 (第11回) 於：東京	1. 第3回定時総会提出議案について (1)平成26年度事業報告(案) (2)平成26年度計算書類(案) 貸借対照表及び正味財産増減計画書 公益目的支出計画実施報告書 (3)平成27年度事業計画・予算書 (4)役員の選任 2. 会員の異動について 3. 6月定時総会等諸会議開催日程について 4. 平成27～28年度部員の選任について 5. その他 (1)第51回国際品評会運営について (2)海外支部申請について (3)国際若鯉品評会の開催について (4)次年度の各組織・業務について (5)役員の会費協力金について (6)名誉公認審査員について	○原案のとおり総会報告が承認された。 ○原案のとおり総会提案が承認された。 ・公益目的支出計画の2年延長の承認 ○前回理事会で承認済みにつき、案のとおり報告することが確認された。 ○1月の役員候補選考委員会で選出された次期役員候補を、選考委員会委員長が総会で提案することが確認された。ただし、池田早正理事については、再任辞退の届出が提出されたため、役員候補から除くこととなった。また、岩橋会長の名誉会長推薦に関しても総会提案されることが承認された。 ○1名の本部会員申請が承認された。 土江 幸二(島根県) ・本部会員から通常会員への異動11名 ・本部会員の退会17名(逝去を含む)が報告された。 ○原案のとおり開催することが承認された。 ○各地区長より推薦された会員に一部修正が行われ次期部員が認定された。本部役員全員を鑑賞審査部の部員とすることが確認された。 ○横山常務理事より、第51回国際品評会の進捗状況について、全日本錦鯉振興会新潟地区長と協議した際に設営運営費の増額を提案された旨報告があった。 ○アメリカのカロライナ友好クラブが支部として承認された。 ○角南理事より、国際若鯉品評会について説明があり下記の実施案が了承された。詳細は品評会事業部会で検討されることとなった。 第1回国際若鯉品評会 平成28年5月14～15日 会場：岡山RSKバラ園 ○馬上理事より、各組織の業務についての実践的な見直し案が提出され、総会での新役員承認後に各部会で検討する方向で了承された。 ○伊庭専務理事より、平成26年度総会において会費の値上げが承認されたに伴い、すでに理事会で了承されている役員の会費協力金を新役員承認後に納めることが確認された。 ○公認審査員審議会において推薦を受けた北川學氏が名誉公認審査員として承認された。

期日・場所	議案事項	会議の結果
<p>6.13 (第12回) 於：常滑市</p>	<p>1. 第3回定時総会への提出議案について</p> <p>2. 次回理事会等の開催日程について</p> <p>3. 次年度国際錦鯉品評会の開催地について</p> <p>4. その他 (1)会員の異動について (2)公認審査員会役員候補について</p>	<p>○馬上議長より、前回理事会で承認された、第3回定時総会への提出議案および報告事項についての確認が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度事業報告 ・平成26年度計算書類 ・公益目的支出計画期間変更 ・平成27年度事業計画・予算書 ・役員を選任 ・岩橋慶一会長の名誉会長推薦 <p>○鑑賞審査部研修会と合同で9月に小千谷市において開催することが了承された。</p> <p>○近畿地区と東海地区で開催の可否について検討することとなった。</p> <p>○1名の本部会員の申請が承認された。 館山 弘志(神奈川県支部)</p> <p>○公認審査員総会に提案する役員候補が承認された。</p>
<p>6.14 (第13回) 於：常滑市</p>	<p>1. 支部長会の結果報告</p> <p>2. 各部会の結果報告 (1)総務部</p> <p>(2)品評会事業部</p> <p>(3)国際部</p> <p>(4)飼育魚病研究部</p> <p>(5)その他</p>	<p>○財政安定について討議され、決算報告による事務局人件費の割合について、若い愛好家が入会しやすい環境づくり、日鱗誌の購読料の切り離し等の意見が出された旨、報告があった。</p> <p>○オレンジブックについて、規則・書式等が現行に適合していない点が多くみられるので、一般社団法人への移行による新定款に則して改訂を行う方向で、今後のスケジュールが報告された。</p> <p>○第51回国際錦鯉品評会の実施に関して下記の提案を受け了承された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無地もの種新設 ・オスの部鱗王賞新設 ・受付締切日11月3日 ・特別賞品種は東北地区が選定 ・海外支部長賞(海外審査員より) ・宅配便受託出品の廃止 ・入賞協力金について <p>○海外の友好クラブ・支部動向について報告された。馬上会長より、中国での会員獲得案について提案があった。また、ウェブサイトの活性化のひとつとして中国語ページの開設が提案された。</p> <p>○来年1月の魚病研究会のテーマとして、鯉ヘルペスへの対処、水づくりを検討していることが報告された。</p> <p>○台湾のフォルモサ友好クラブが支部に承認された。</p>

期日・場所	議案事項	会議の結果
<p>9.5 (第14回) 於:小千谷市</p>	<p>1. 第51回国際錦鯉品評会について (1)審査員の選考 (2)大会要項・審査要領・大会役員・その他</p> <p>2. 11月理事会の開催日程について</p> <p>3. 第52回国際錦鯉品評会の担当地区について</p> <p>4. 国際審査員(仮称)について</p> <p>4. その他 (1)海豚水族有限公司(中国)との協力合意書について (2)本部事務局建物修繕工事について (3)事務局長の定年に伴う体制について (4)平成27年3月の近畿地区展について</p>	<p>○各理事の推薦にもとづき、角南専務理事より「第51回国際展審査員候補(案)」の説明があり、鈴木定通審査員長以下40名の審査員及び補充審査員が選考された。</p> <p>○大会要項の変更箇所が提案され下記の事項が了承された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出品資格として、「日本国内で飼育所有している健康な錦鯉」の「飼育」を削除し「所有」のみとする。 ・特別賞「山吹黄金」には銀鱗山吹黄金も対象とする。 ・オス鯉区分は従来の御三家の他に「写りもの・五色・金銀鱗1種」を一括りとして設け、オス鯉総合優勝を選出。 ・ジバング全体・区分優勝対象のジバング賞の繰上げ措置を行う。 ・ジャンボ賞は各部総合優勝上位とは重複しない。 ・副審査員長2名を置く。 ・全体総合優勝の選出で、「推薦鯉が4尾以上となった場合には、審査員長と副審査員長の協議により候補鯉3尾を決定する」に変更。 <p>○原案どおり、小千谷市で国際錦鯉展会場において開催することが了承された。</p> <p>○次年度の国際展担当地区について、東海地区にお願いすることになり、元田常務理事が地区協議会で検討する旨解答した。</p> <p>○より高いレベルでの審査員・審査研修指導員による国際交流を図るための人選が必要との山本理事より提案があり、公認審査員を対象に「海外の審査及び研修指導に関するアンケート」を行うことが了承された。</p> <p>○角南専務理事より、この協力合意書については次回以降の協議とする旨説明があった。</p> <p>○本部事務局建物の老朽化・雨漏りに対して修繕工事を実施することが了承された。</p> <p>○常務以上役員会において、宮森事務局長の平成28年1月の定年に伴う事務局体制について検討され、決算および各官庁への報告事項のため宮森職員は3月まで定年延長とするが、1月より新体制として白子職員を後任の事務局長とする旨、馬上会長より報告された。</p> <p>○伊庭副会長より、去る3月の近畿地区展が振興会若鯉品評会と日程が重なった件について、日程を再調整したが叶わずやむを得ず同日に開催したこと、近畿地区内の振興会会員には事前に了承を得ていたことが説明された。</p>

期日・場所	議案事項	会議の結果
11.13 (第15回) 於:小千谷市	1. 第51回国際錦鯉品評会について 2. 平成28年1月の諸会議開催日程について 3. 平成28年6月定時総会・研修会等の開催地区について 4. 新たな会員制度としての愛鱗会クラブ(仮称)について 5. 国際若鯉品評会について 6. 近畿地区展と振興会若鯉品評会の日程が重なった件について 7. その他報告	○審査班の編成が了承された。 ○振興会理事長の意向により今回は夢展が実施されないこととなり、代わりに振興会新潟地区会員提供による鯉のオークションを行い、その収益金を先の関東・東北豪雨の被害に対して義援金とすることが横山常務より説明された。 ○原案のとおり東京流通センターにて開催することが了承された。 ○神戸市において開催することが了承された。 ○先に馬上会長より文章で提案された、「新たな会員制度」について検討されたが、海外支部の意見を聴取して議論すべきとの意見から、海外支部に本件のアンケート調査を行うこととなった。 ○角南専務理事より、第1回を平成28年5月に岡山で開催予定であるので、その次は四国で開催するのはどうか、と提案があった。玉木理事が地区内で検討するとの返答を行った一方、他の理事より、国際展の担当もあり若鯉展の毎年の開催は難しいのではないかとの意見が出された。 ○伊庭副会長(元近畿地区長)より、小西振興会理事長に説明を申し入れたが応じてもらえなかった旨の説明があり、誤解があれば和解したいとの申し出があった。馬上会長より地元での経緯が補足され、この件についてはこれで終わりにしたいとの提案があった。 ○11月入局の白野雅和職員が紹介された。
1.30~31 (第16回) 於:東京	1. 会員の異動について 2. 平成28年度諸会議等開催日程について 3. 第51回国際錦鯉品評会の結果等について 4. 第52回国際錦鯉品評会について	○今期間の本部会員の申請なし。 ・本部会員の退会者4名 ○原案のとおり開催することが了承された。 ○国際展を担当した東北地区からの経費計上について討議され、前例のない支出に関しては理事会にて支出の判断がなされるべきという結論のもと採決が行われ、採決に沿って修正された報告書の金額を認めることとなった。玉木理事より、今後は予算書のもと必要経費を明確化してはどうかと提案があった。 ○中国人通訳の年間契約料については、理事会の承認が必要であり、白坂監事より、承認の場合も正式の契約書と領収書をもって対応するよう指導があった。その結果、今回の中国人通訳に係る費用は会の経費としないことが馬上会長によって追加説明された。 ○元田常務理事より、第52回国際展は振興会新潟地区の協力により、11月11～13日小千谷市開催で日程を調整中であることが報告された。

期日・場所	議案事項	会議の結果
	<p>5. 平成 28 年度事業計画・収支予算について</p> <p>6. 第 1 回国際若鯉品評会について</p> <p>7. 支部長会・部会の結果報告その他 (1)支部長会の結果について (2)品評会事業部会の結果について (3)総務部会の結果について (4)国際部会の結果について (5)名誉公認審査員について (6)その他の報告</p>	<p>○平成 27 年度の収支予算の執行状況について説明が行われ、平成 28 年度事業計画・収支予算が原案どおり承認された。</p> <p>○山崎理事より、品評会事業部会での討議結果と併せて第 1 回若鯉展実施要項について報告があった。</p> <p>日程：2016 年 5 月 14～15 日 会場：岡山市 RSK パラ園 出品料：国際品評会に準じる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビニール袋は規格見本を提示して各自の調達とする ・17 品種（オスの部なし） ・開会式は、開会宣言・審査員紹介のみとし、来賓挨拶は懇親会でお願ひする <p>○担当地区長の山田理事より、水の供給および会場の芝の損傷についての懸念が報告された。</p> <p>○今回より、支部長会の議事録の代わりに副議長が意見を箇条書きに記述し討議書として直後の理事会へ提出することとなった。第 1 回若鯉展の支部協力金要請に対して、若鯉展の開催について会員に対して周知されていないとの意見が多数あった。またその収益性についても疑問点が出された。議論の後、賛否を問い、協力金については五千円を基礎額として会員数に乗じた協力を行うことが了承された。</p> <p>○上記の 6 に示すとおり。</p> <p>○上田理事より、オレンジブック改訂の進捗状況の報告が行われた。</p> <p>○山本理事より、公認審査員への意見聴取結果に基づき、公認審査員会と鑑賞審査部対して国際公認審査員（仮称）制度の確立の要望があった。また、研修指導の統一化のために審査基準の文書化の必要性が提言された。</p> <p>○岩橋慶一名誉会長の名誉公認審査員が承認された。</p> <p>○馬上会長より、1 月に臨時常務以上役員会を招集し事務局体制および国際展について意見聴取を行ったことが報告された。それに伴い、4 月より 1 名の職員の補充採用を行うことが報告された。</p>
3 月	補足事項	<p>○平成 28 年 5 月に予定されていた第 1 回国際若鯉品評会開催に対する反応を受けて役員全員に意見聴取を行った結果、期日も迫っていることから緊急判断により開催延期とした。今後の国際若鯉展の開催について、各支部長にアンケート調査を実施した。</p>

(2) 監 査

期日・場所	監 査 事 項	結 果
4.17 於：別 府	1. 平成 26 年度収支決算並びに業務全般について	○平成 25 年度決算より公益目的支出計画実施報告書の作成が必要となっているが、平成 26 年度の実施状況から、支出計画の期間延長の申請を要する。

(3) 総 会

期日・場所	議 案 事 項	会 議 の 結 果
6.14 (第 3 回) 於：常滑市	1. 平成 26 年度事業報告に関する件 2. 平成 26 年度計算書類承認に関する件 3. 平成 27 年度事業計画及び予算に関する件 4. 役員の選任に関する件	<p>○事業報告の内容が報告された。 ○原案のとおり承認可決された。 ○公益目的支出計画の 2 年延長の変更手続きを行うことが承認可決され、必要な書類と共に監督官庁へ提出することが報告された。 ○事業計画及び予算の内容が報告された。</p> <p>○役員選考委員会を代表して田中昭次委員長より役員候補者が推薦され、候補者ごとに選任決議が行われ、下記のとおり役員が承認可決された。</p> <p>理事： 平賀 富弥（岩手県） 横山 惇（福島県） 鈴木 定通（東京都） 山本 毅（神奈川県） 福井 輝男（新潟県） 鷹野 義男（石川県） 元田 富男（長野県） 北川 學（三重県） 山崎 美左治（滋賀県） 沢村 昌彦（京都府） 伊庭 幸治（大阪府） 中島 正章（兵庫県） 上田 正裕（兵庫県） 角南 修一（岡山県） 馬上 宗顕（広島県） 山田 幹洋（山口県） 玉木 一浩（さぬき） 野瀬 康二（高知県）</p> <p>監事： 白坂 大四郎（奈良県） 三上 彌六（山口県）</p> <p>総会を一時中断し、上記の新役員により会長以下常務理事の役職が別室にて選出された後、結果について下記のとおり発表が行われ承認された。</p> <p>会長：馬上 宗顕 副 会 長：伊庭 幸治、北川 學、鈴木 定通 専務理事：角南 修一 常務理事：横山 惇、中島 正章、元田 富男 上記役員の内任期は、承認可決より平成 29 年 6 月予定の定時総会までとなる。</p>

(4) 公認審査員会総会

期日・場所	議案事項	会議の結果
6.14 (第3回) 於：常滑市	1. 平成26年度事業報告について 2. 平成26年度収支決算について 3. 平成27年度事業計画及び予算について 4. 公認審査員会役員の選出について	○事業報告の内容が報告された。 ○原案のとおり承認可決された。 ○事業計画及び予算書が報告された。 ○平成27年度～28年度の役員が選出された。 ただし、定款により公認審査会会長は会長が務める。

(5) 公認審査員審議会

期日・場所	議案事項	会議の結果
5.9 於：東京	1. 審査員の登録取消について 2. 審査員の資格認定について 3. 名誉公認審査員の推薦について	○登録取消 ・名誉公認審査員 1名 ・公認審査員 8名 ・公認審査員補 4名 ・地方公認審査員 6名 ○公認審査員の認定 7名 長尾 昭一 (三重県) 小西 弦 (岡山県) 宮本 信彦 (広島県) 鄭 國貴 (香港) 梁 康民 (広東) ジェラード・マクドナルド (KSA) ケイト・マクギル (AKA) ○地方公認審査員の認定 6名 土江 幸二 (島根県) 一木 春男 (ブラジル) ウィレム・ダフュー (南アフリカ) ウィルヘルム・ゲルデンフィ (南アフリカ) クリストファー・ヤンコビッチ (南アフリカ) リー・グエン (AKA) ○名誉公認審査員の推薦 北川 學
1.30 於：東京	1. 審査員の資格認定について 2. 名誉公認審査員の推薦について	○地方公認審査員の認定 8名 ヘンリー・ウオン (シンガポール) 黄 創増 (香港) 洪 金文 (楊梅) サンティ・マエンシリ (TKKG) フィル・バンランチープ (TKKG) ゴビット・パトゥームナクル (TKKG) チュムポール・スリヤパイ (イーストタイ) ミキ・モー (西オーストラリア) ○公認審査員補の合格認定 7名 アラン・スタイン (南加) バーニー・ウーランズ (オランダ) ロナルド・スタム (オランダ) レネ・ショーンメイカー (南アフリカ) 張 佐偉 (香港) 岩本 康生 (山口) 岸本 史郎 (兵庫) ○名誉公認審査員の推薦 岩橋 慶一

(6) 公認審査員会役員会

期日・場所	議案事項	会議の結果
5.9 於：東京	1. 第3回公認審査員会総会への提出議案について (1)平成26年度事業報告 (2)平成26年度収支決算 (3)平成27年度事業計画及び収支予算報告	○原案のとおり報告された。 ○原案のとおり総会提案が承認された。 ○原案のとおり報告された。

(7) 部 会

期日・場所	部 会 名	主 な 協 議 事 項
6.14 於：常滑市	総 務 部	1. オレンジブックの改訂について 2. ウェブサイトの見直しについて（中国語版の新設） 3. インターネット・サポーター制度について 4. 日鱗レポーターの活性化について
	品 評 会 事 業 部	1. 第51回国際錦鯉品評会について 2. 国際若鯉品評会について
	国 際 部	1. 海外の動向について 2. 国際展での海外審査員・審査員補助について 3. ウェブサイトの見直しについて（総務部連携） 4. 中国会員の獲得について
	飼 育 魚 病 研 究 部	1. 飼育魚病研究会の開催計画 研究会講師の育成、過去の関連資料のとりまとめ、 部外講師の要請
9.6 於：小千谷市	鑑 賞 審 査 部	1. 国際展審査要領の変更・確認 ・無地ものの審査基準他 2. 実物審査研修会の実施
1.30 於：東京	総 務 部	1. オレンジブックの改訂箇所の考察
	品 評 会 事 業 部	1. 第51回小千谷大会の反省 2. 第52回大会について 3. 国際若鯉品評会について
	国 際 部	1. 海外会員との交流及び意見聴取 2. 海外品評会への審査員参加の活性化について

(8) 委員会等

開 催 会 名	回 数	開 催 会 名	回 数
常 務 以 上 役 員 会	5回	表 彰 審 査 委 員 会	1回
公 認 審 査 員 審 議 会	2回		